

防災訓練 校長先生の話（1月10日）

今日の防災訓練は、川の水があふれて、洪水になったことを想定しての訓練でした。校長先生は、皆さんの避難の様子を見ていました。先生の指示に従って、しっかり避難することができていました。

篠原小学校の近くには、川が3つ流れています。分かりますか。

1つは、篠原川です。学校のすぐ横を流れていますね。コイやカメがいる、きれいな川です。校長先生は、インターネットで、篠原川が洪水になった記録を調べてみました。調べてみましたが、洪水の記録は見つかりませんでした。でも安心はできません。台風や大雨が続いたら、川の水があふれるかもしれません。

2つめの川は、高塚川です。高塚川は、遠鉄ストアやファミリーマートの近くを流れている川です。昔は沼でしたが、工事をして用水路にした川です。この高塚川は、平成27年の9月、台風の影響で、洪水になりました。床上浸水といって、家の中にまで水が入ってきた家が、16件もあったそうです。

そして、最後、3つめの川は、天竜川です。篠原からずいぶん離れているから、ここまで洪水は来ないんじゃないか、と思っている人はいませんか。でも、4年生以上の皆さんは、社会の授業で勉強しましたね。天竜川は「あばれ天竜」と呼ばれていたぐらい、昔は何度も洪水を起こしていました。昭和20年10月の台風の時には、ここ篠原まで洪水が来たことが、記録に残っています。

今日は、洪水が起きることを想定しての防災訓練でした。今日の洪水の訓練だけでなく、地震や津波、火事などの災害は、いつどこで起きるか分かりません。大事なことは、いつ災害が起きても、慌てず行動できるようにしておくことです。そのために、これからも、今日のように、防災訓練には、いつも真剣に取り組むようにしましょう。

